



## ひとつのことばで伝えよう（1時間）【中学年】



## ねらい

ひとつのことばでも、そのことばを話すイントネーションやそのことばを言う表情が異なると、いろいろな意味をもつということに、気付くことができる。また、「ことば」を発する時や、「ことば」を受け取る時の感性を豊かにする。



## 準備するもの

- あいさつの英単語の絵カード(Hello/ Good morning/ Good afternoon/ Good evening/ Good night Etc.)
- シチュエーションカード(I'm happy./ I'm sad. / I'm angry. / I'm so-so. / I'm tired. Etc.)



## すすめかた

1. 外国語活動の時間に習った英単語のカードを復習する。(例:あいさつ・気持ちなど)

2. シチュエーションカードの意味を説明する。

3. 指導者が見本を見せる。

①1枚絵カードをめぐりみんなに見せる。

【Helloをひいてみんなに見せる】

②シチュエーションカードを1枚めぐり、自分だけが見る。

【I'm sad.のカードをひいたら自分が見る】

③シチュエーションカードの様子が伝わるように、英単語を言ってみる。

【I'm sad.の気持ちが伝わる様に、Helloと、ジェスチャーなして言う】

④見ている人が、どのシチュエーションのカードかを当てる。

【You're tired? / No.】【Are you sad? / Yes.】

4. ルールが確認出来たら、グループごとに行う。

5. ひとつのことばにも、言い方や表情でいろいろな意味をもつことを、確認する。



## すすめかたのヒント

- 日本語でも、英語でも、どんなことばでも行える。学級の実態に合った言語、ことばをえらんで、いろいろな表現方法を試しながら、楽しく活動できる場の設定をするようにする。
- この活動を通して、ひとつのことばのもつ、いろいろな意味に気付き、今後、自分がことばを発する時に意識をしたり、相手の話すことばに意味を感じて受け止めたりすることができるようとする。



## 解説

- カードゲーム「はあって言うゲーム」(幻冬舎)のように、いろいろなシチュエーションを取り入れて行うと、低学年でも高学年でも実施できる活動とすることができます。いろいろなアレンジが可能である。